



「毎日、元気に幼児学園へ行こうね！」

4/6 八木東幼児学園 入園式

広報
なんたん

もくじ

- 2 399億9,936万円で南丹市のまちづくり
- 6 134年の歴史に幕を下ろす -五ヶ荘小学校閉校記念式典-
- 8 行政トピックス 南丹市スポーツ・文化賞 表彰式 他
- 16 南丹市職員人事異動／いきいき南丹
- 20 なんたん歳時記～大野ダムさくら祭り～／わが家のアイドル

4月号

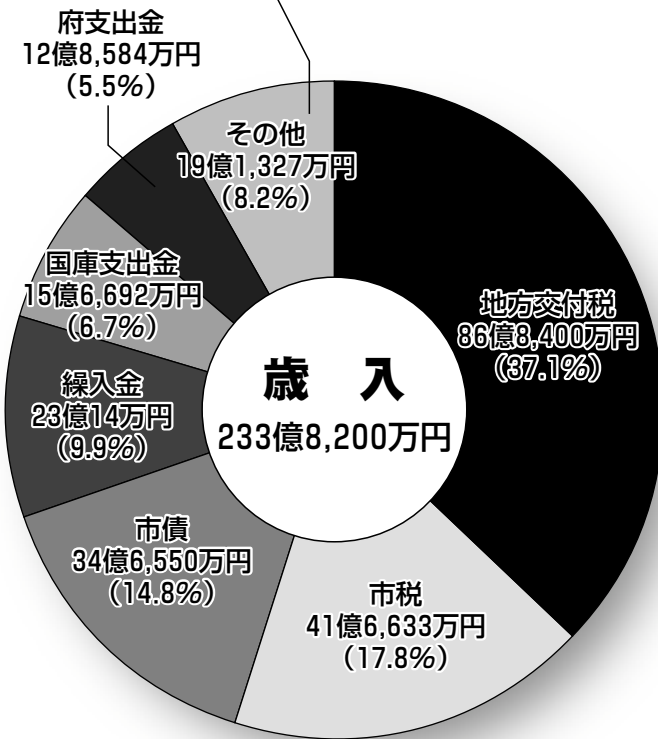
2007年 Vol.16

南丹市のまちづくり

233億8,200万円

◆歳入の財源別内訳

地方譲与税金	1.0%	交通安全対策特別交付金	0.0%
地子割交付金	0.1%	分担金及び負担金	1.0%
配当割交付金	0.1%	使用料及び手数料	0.7%
株式等譲渡所得割交付金	0.0%	財産収入	0.0%
地方消費税交付金	1.6%	附越収	0.0%
ゴルフ場利用税交付金	0.2%	入金	0.8%
自動車取得税交付金	0.7%	入金	1.9%
地方特例交付金	0.1%		



合併効果で 市民の満足度を高める予算

平成十九年度一般会計、特別会計の当初予算が決まり、総予算三百九十九億九千九百三十六万円で新たなまちづくりがスタートします。合併二年目となる本年度は、「合併効果で市民の満足度を高める予算」と位置づけ、南丹市域の一体感の醸成と全体の均衡を図るため、それぞれの地域の特徴や課題に配慮した予算となっています。

平成十九年度予算は、平成十八年度当初予算が骨格予算であったため、前年度と比較して十九億二千二百万円、九割の大幅な増となっています。しかし、平成十八年度六月補正後の、いわゆる肉付け後の予算と比較すると十二億四千九百三十四万八千円、五・一割の減となっています。

歳入においては、自主財源が歳入の三割程度となっています。また、平成十九年度から国が税源移譲を行い、市民税は約二億五千五百万円程度の増額を見込む一方で、所得譲与税が二億五千八百万円の減額となっています。

歳出においては、扶助費や人件費、公債費を合わせた義務的経費が歳出の四割程度を占めています。

厳しい財政状況の中、行財政改革の一つとして、南丹市特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職の給与を減額し、さらに自主的に市長は五割、それ以外の特別職については三割抑制しています。

また、これからの世代に負担を残さないよう起債総額の抑制を行い、地方債現在高を減らす努力をしています。また合併特例事業で、地域情報通信基盤整備事業を行い、今後の施設の老朽化や更新による改修に備えて、引き続き基金の積み立てを行います。

特別会計・企業会計については、福祉や市営バス運行、上下水道事業など住民サービスの充実を図る予算となっています。

現在、南丹市行政改革推進計画などを基にした財政計画を作成中であり、その財政見通しについては六月議会示



総予算

399億 9,936万円で

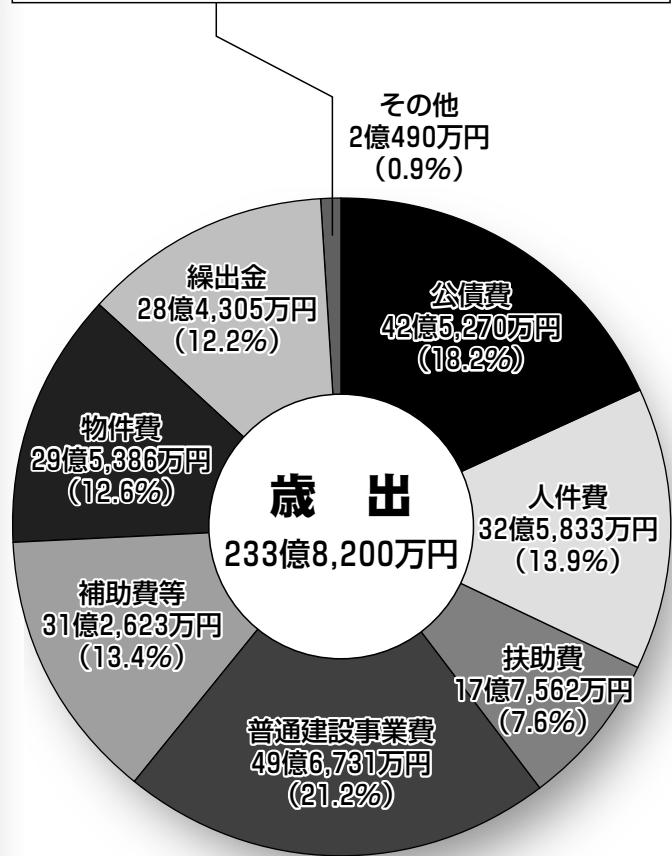
一般会計は

平成19年度予算額の内訳

会計名	予算額	
一般会計	233億8,200万円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	36億5,210万円
	老人保健事業特別会計	41億9,910万円
	介護保険事業特別会計	28億8,900万円
	市営バス運行事業特別会計	5,150万円
	簡易水道事業特別会計	10億2,050万円
	下水道事業特別会計	32億9,900万円
	商品券事業特別会計	3,630万円
	土地取得事業特別会計	6億 30万円
企業会計	上水道事業会計	8億6,956万円
合計		399億9,936万円

◆歳出の性質別内訳

積予貸	立備付	金 0.4%	維持修繕費 0.3%
		費 0.1%	災害復旧事業費 0.1%
		金 0.0%	



財政用語解説

- ★^{※1}自主財源：市が自主的に収入できる財源のことで、市税、使用料、手数料、財産収入、寄附金など
- ★^{※2}税源移譲：補助金に代わる地方公共団体の新たな財源として、国が集めている税金のうちの一定の部分を、地方が集めることができるようにすること
- ★^{※3}扶助費：法令に基づき被扶助者に対してその生活を維持するために支出される経費で、児童手当、医療扶助など
- ★^{※4}人件費：市職員給与、市議会議員・各種委員会報酬など
- ★^{※5}公債費：事業を行うために借り入れたお金の償還金
- ★^{※6}地方債：地方公共団体が国や金融機関から借り入れる資金

す予定です。
 今後も、より一層の財政の健全化を図り、まちづくり市民の声を反映できるように努力してまいります。事業効果や地域間のバランスなども十分考慮しながら、南丹市全体の視点で効率的、計画的な事業に取り組んでいく考えですので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

主な事業を紹介します

(単位未満四捨五入)

●主な事業●

○=新規

地域の核となる市街地の形成・住環境の整備

本町土地区画整理事業	5億1,510万円
園部公園拡張事業	1億 384万円
内林町公園新設事業	5,016万円
美山中核整備事業	3,694万円
吉富駅西土地区画整理事業	2,470万円

健康で生き生きと安心して暮らせる環境づくり

○八木プール改修事業	3,450万円
各種イベント等開催事業	1,070万円
障害者自立支援利用者負担軽減措置費	1,000万円
○母子家庭自立支援給付費	223万円
○災害時要援護者台帳整備事業	58万円

高品質な産業により躍動する環境づくり

南丹地区農用地総合整備事業負担金	2億7,891万円
森林管理道開設事業	1億 10万円
企業支援事業	7,200万円
工場誘致事業奨励金	2億6,825万円
○農地・水・環境保全向上対策事業	1,946万円
○農業法人等規模拡大支援事業補助金	1,607万円
内水面漁業振興対策事業補助金	1,746万円

交流を加速させる情報通信基盤・交通基盤の整備

地域情報基盤整備事業	5億8,438万円
山陰本線複線化整備事業補助金	4億6,921万円
道路新設改良事業	4億9,948万円
都市計画街路事業	3億7,465万円
コミュニティバス運行业務委託料	4,084万円
生活路線バス維持費補助金	1,040万円
市営バス運行业務特別会計繰出金	2,830万円

次代を担う子どもたちが心豊かに育つ環境整備

殿田小学校改築事業	7億3,265万円
○みやま保育所改修事業	7,874万円
○放課後児童クラブ施設整備事業	593万円
○園部幼稚園保育室リース代	300万円
入学祝金支給事業	3,025万円
すこやか子育て医療給付費	3,500万円
出産祝金事業	2,298万円
すこやか手当支給事業	4,971万円
母子栄養強化事業	384万円
チャイルドシート購入補助金	120万円

主な新規事業

平成十九年度の南丹市での主な新規事業を紹介します。

■みやま保育所改修事業

美山町地域における保育所の統合に向けた、保育施設の改修事業

■八木プール改修事業

老朽化した八木海洋センタープールを改修

■災害時要援護者台帳整備事業

災害時における要援護者への支援が円滑にできるよう、台帳を整備するとともに、関係機関とのネットワークづくりを進める事業

■農地・水・環境保全向上対策事業

京都府が支援する農地・水・環境保全向上対策について、京都府に対する負担金等



一般会計の

事務の効率化

事務の効率化の取り組みとして入札事務の簡素化や文書管理の合理化を図るため契約管理システム、文書管理システムの導入を行います。

- 契約管理システム導入費 1,396万円
- 文書管理システム導入費 48万円

また、事務の民間委託への取り組みとして特定の窓口業務を市内の郵便局に委託する特定事務委託経費を計上しています。

- 特定事務委託事業 990万円

新たな行政課題への対応

新たな行政課題に対応できる力を磨き、個々の能力、資質向上を図るため職員研修等に積極的に取り組み、またさまざまな活動の中で市民のニーズを的確に把握し、提案をいただくため議員政務調査費を盛り込んでいます。

- 職員研修費 97万円
- 議員政務調査費交付金 312万円



▲6月から市内6ヵ所の郵便局で諸証明書の発行が可能になります

●行財政改革の推進●

厳しい財政状況の中で魅力あるまちづくりをすすめていくには持続可能な行財政構造の構築に向けた抜本的な改革は不可欠です。

その水先案内人となる行財政改革プランの実施計画は、策定中ですが、それを待たずして平成19年度から出来るものを進めていきます。

人件費の抑制

行財政改革の第一歩として、理事者の給与額を特別報酬等審議会答申を基に条例改正を行い減額し、さらに市長5%、副市長などの理事者3%の自主カット、そして、議員報酬についても、自らカットを行うなど人件費を抑制しています。

- 理事者給与等カット 2,161万円の削減
- 議員報酬等カット 1,399万円の削減

また、職員も管理職手当のカット、超過勤務手当のカットなど効率的な行政運営を目指した内容も盛り込んでいます。

- 管理職手当カット 823万円の削減
- 超過勤務手当カット 5,748万円の削減

後年度負担の軽減

これからの世代に負担を残さないよう起債総額の抑制を行い、地方債現在高を減らす努力をしています。

- 地方債現在高 1億3,276万円の減少

合併特例事業で大きな事業費を投入している地域情報通信基盤整備事業などによる施設の改修などの将来的な負担を考慮し積立金を計上しています。

- 地域情報通信基盤整備基金積立金 8,053万円

134年の歴史に



幕を下ろす

—五ヶ荘小学校閉校記念式典—

▲参加者全員で記念撮影

第一部



▲250人が出席して行われた閉校式典

唱しました。

その後、今西校長から勝田正巳教育委員長に、長年親しまれ、引き継がれてきた校旗の返還が行われ、最後に五ヶ荘小学校児童二十二人が、感謝の気持ちや思い出を発表し、参加者全員で校歌を斉

唱しました。

三月二十四日、殿田小学校との統合を控えた南丹市立五ヶ荘小学校の閉校記念式典に、卒業生や地元の市民らおよそ二百五十人が集まり五ヶ荘小学校の閉校を惜しみました。

式は二部構成で行い、一部では、五ヶ荘小学校の児童、教職員ら出席の下、式典を行いました。式典では、牧野修教育長から、統合に至る経過が報告され、佐々木稔納市長と今西徹五ヶ荘小学校長が式辞を述べました。また戸田雄一郎京都市南丹広域振興局長、高橋芳治南丹市議会議長、加

地一郎五ヶ荘教育振興会長らのあいさつに続き、小林隆良



▲全校児童によるお別れの言葉

◀小学一・二年生が金管演奏に合わせて踊りました

第2部

▼小学生による金管楽器の演奏



▼理科教室で“きもだめし”



▲昔の懐かしい給食



▲卒業生による金管楽器の演奏



あの日に帰ろう 集まれ!五ヶ荘小学校

▲古い写真に昔が思い出されます

二部では、「あの日に帰ろう、集まれ!五ヶ荘小学校」と題した地元有志の方によるイベントが行われました。イベントでは“すいとん”や“揚げパン”などの懐かしの給食を食べたり、五ヶ荘小学校の歴史をつづったスライドの上映、卒業生による金管楽器の演奏、きもだめしコーナー、小学生による金管楽器の演奏などが行われました。

最後に、もう一度、参加者全員で校歌を合唱し、慣れ親しんだ五ヶ荘小学校との別れを惜しみました。



▲最後に全員で校歌を合唱

五ヶ荘小学校の 思い出

村山 大明さん (十七歳)

全校生徒が三十人ほどでしたが、上級生も下級生も先生たちもみんな仲良く楽しい学校でした。

閉校するのは寂しいけれど、これからも五ヶ荘小の卒業生として誇りを持っていきたいです。

松本 侑士さん (十二歳)

小さい学校だったけど、みんなでいろんな事に取り組んで楽しかったです。僕は卒業して殿田中学校に行くけど、殿田小学校に通うみんなは、新しい環境で勉強やスポーツに頑張ってください。

高橋 渚さん (九歳)

一年間頑張ってきた金管演奏とか思い出はいっぱいあります。

五ヶ荘小学校がなくなるのは寂しいけど、四月から殿田小学校の新しい友達と仲良くしたいです。

スポーツ・文化の 振興発展に貢献

南丹市スポーツ・文化賞 表彰式

三月十一日、南丹市役所で「南丹市スポーツ・文化賞表彰式」を行い、十三団体、八十九人が受賞されました。

南丹市スポーツ・文化賞は、南丹市のスポーツおよび文化などの振興発展に貢献した個人または団体に対して、表彰するものです。

式では、佐々木市長が「日ごろの努力と練習の積み重ねによる優秀な成果にお祝いを申し上げます」とあいさつし、出席者に賞状を手渡しました。なお、被表彰者は次のとおりです。(敬称略)

■優秀スポーツ賞

《団体》

〔中学生の部〕

▽園部中学校陸上競技部男子(第五十九回京都府中学校総合体育大会陸上競技男子総合優勝)▽園部中学校陸上競技部男子四百リレーチーム(第三十三回全日本中学校陸上競技選手権男子四百リレー出場)「大家淳徳、前田悠志、渡邊弘貴、中嶋紘希、松本裕貴、浅井拓哉」/第五十九回京都府中学校総合体育大会陸上競

《個人》

〔一般の部〕

▽徳永軍司「八木町グラウンドゴルフ協会」(第十六回京都府グラウンド・ゴルフ秋季大会優勝)▽松本辰雄(第六回全国障害者スポーツ大会)のじぎく兵庫大会「フライイングデイスタンス三位・アキユウラシー三位」▽出野一(第六回全国障害者スポーツ大会)のじぎく兵庫大会「ボウリング大会」のじぎく兵庫大会(第六回全国障害者スポーツ大会)のじぎく兵庫大会「ボウリング大会」のじぎく兵庫大会(第六回全

〔高校生の部〕

▽濱田絵梨華「園部高三年生」(第六十一回国民体育大会少年



▲スポーツの分野での受賞者

女子エアライフル立射四十発競技四位・少年女子エアライフル立射二十発競技八位/第四十四回全国高等学校ライフル射撃選手権大会一〇位S四〇JW出場/全国高等学校ライフル射撃選手権大会府予選一〇位S四〇JW優勝)▽野中直道「園部高二年生」(全国インターハイハンマー投げ出場/第六十一回国民体育大会少年A男子ハンマー投げ十一位/近畿インターハイハンマー投げ三位/京都インターハイハンマー投げ二位)▽宮木淳平「園部高二年生」(全国インターハイ円盤投げ出場/第三十九回近畿高校陸上対抗選

生」(第二十四回全国高等学校
ル選抜優勝大会出場)

【中学生の部】

▽前田悠志「園部中三年生」
(第三十三回全日本中学校陸上
競技選手権大会二百メートル準決勝
進出／第五十五回近畿中学校
総合体育大会陸上競技二百
メートル／第五十九回京都府中
学校総合体育大会陸上競技二百
メートル優勝)▽北井里奈「園部中
三年生」(第三十三回全日本中
学校陸上競技選手権大会走高
跳出場／第五十五回近畿中学
校総合体育大会陸上競技走高
跳出場／第五十九回京都府中
学校総合体育大会陸上競技走高
跳優勝)▽高屋裕司「園部

中三年生」(第五十五回近畿中
学校総合体育大会陸上競技走高
跳八位／第五十九回京都府
中学校総合体育大会陸上競技
走高跳優勝)

■スポーツ賞

《団体》

【中学生の部】

▽園部中学校男子駅伝チーム
(第二十八回近畿中学校駅伝競
走大会男子四位／第五十七回
京都府中学校駅伝競走大会男
子準優勝「川辺直哉、野上大
介、太田翔、藤掛浩二、小杉
嘉之、中井亮介、安達徹、松
本瑞希、深田皓亮」)▽園部中
学校野球部(第五十九回京都
府中学校総合体育大会軟式野
球三位)▽園部中学校軟式テ
ニス部男子(第五十九回京都
府中学校総合体育大会ソフト
テニス三位)

《個人》

【一般の部】

▽中村映里乃「南丹市体育協
会」(第二十九回京都府民総合
体育大会陸上競技成年女子砲
丸投げ二位)

【高校生部】

▽中西一平「園部高二年生」

▽園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W五位)▽松枝浩史
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W五位)▽浅井綾乃「園部中三年生」
(第五十九回京都府中学校総合



▲文化・芸術の分野での受賞者

(第三十九回近畿高校陸上対抗
選手権やり投げ七位／第三十
九回近畿高校陸上対抗選手権
府予選やり投げ二位)／京都府
高等学校ジュニア陸上選手権
やり投げ二位)▽足立奈緒子
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W四位)▽加地素子
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会B R B S四〇J W出
場)▽園部中学校ライフル射
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W三位)▽田中翔子
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会B R B S四〇J W出
場)▽園部中学校ライフル射
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W五位)▽前林美帆
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会B R B S四〇J W出
場)▽園部中学校ライフル射
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W五位)▽松枝浩史
「園部高三年生」(第四十四回
全国高等学校ライフル射撃選
撃選手権大会府予選B R B S
四〇J W五位)▽浅井綾乃「園部中三年生」
(第五十九回京都府中学校総合

体育大会陸上競技百(二位)

▽野上大介「園部中三年生」

(第五十九回京都府中学校総合体育大会陸上競技千五百(三位))

▽太田翔「園部中一年生」

(第五十五回近畿中学校総合体育大会陸上競技一年千五百(三位))

▽犬石有華「園部中三年生」

(第五十二回全日本通信陸上競技京都府大会砲丸投三位/第五十九回京都府中学校総合体育大会陸上競技砲丸投四位)

■優秀文化賞

《団体》

【高校生の部】

▽府立農芸高等学校農業クラブ専門部畜産部(第二十七回京都府ホルスタイン共進会グランドチャンピオン二頭・最優秀賞二頭/第五十七回京都府学校農業クラブ連盟大会プロジェクト発表(区分食料)最優秀賞/中国地区ブラック&ホワイトショウグランドチャンピオン一頭・最優秀出品校受賞)▽府立農芸高等学校農産バイオ科動物バイオ類型(第七回大阪体外受精卵産

子枝肉共励会最優秀賞)

【中学生の部】

▽美山中学校(平成十八年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰)

《個人》

【高校生の部】

▽正澤圭祐「北桑田高美山分校三年生」(平成十八年度京都府高等学校定時制通信制生徒体験発表大会最優秀賞)▽勝山航太「北桑田高三年生」(日本学校農業クラブ連盟全国大会平板測量競技優秀賞/京都府学校農業クラブ連盟大会平板測量競技最優秀賞)▽小寺章洋「北桑田高一年生」(日本

学校農業クラブ連盟全国大会家畜審査競技乳牛の部出場/京都府学校農業クラブ連盟大会家畜審査競技乳牛の部最優秀賞)▽竹井泰佑「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技(造園)優秀賞)▽酒井崇大「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技(農業土木)優秀賞)▽田中冬碁「農芸高二年生」(第五十四回近畿学校農業クラブ連盟大会意見発表(区分食料)優秀賞/第五十七回京都府農業クラブ連盟大会意見発表(区分食料)最優秀賞)

【中学生の部】

▽高木麻衣「園部中三年生」(第二十八回少年の主張京都府大会京都府知事賞/全国大会努力賞)▽田中斐子「園部中三年生」(平成十八年度JAG共済書道コンクール文部科学大臣奨励賞)

■文化賞

《団体》

【中学生の部】

▽園部中学校ブラスバンド部(第四十三回京都府吹奏楽コンクール銀賞)

《個人》

【高校生の部】

▽坂部勇輔「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技農業)出場)▽河谷裕史「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技園芸)出場)▽榎田寛「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技畜産)出場)▽林知得「農芸高二年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技園芸)出場)▽中塚彩芽「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技畜産)出場)▽富田由依子「農芸高三年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(家畜審査競技)出場)▽西村香織「農芸高二年生」(第五十七回日本学校農業クラブ全国大会(農業鑑定競技園芸)出場)▽日高利都「農芸高三年生」(第四十四回技能五輪全国大会「造園」京都府代表(二〇〇六技能五輪&アビリンピックinnかがわ)▽宮瀬翼

「農芸高三年生」(第四十四回技能五輪全国大会「造園」京都府代表(二〇〇六技能五輪&アビリンピックinnかがわ))

【中学生の部】

▽岩崎彩乃「園部中三年生」(第二十八回少年の主張京都府大会京都府PTA会長賞)▽奥村春那「園部中三年生」(第二十八回少年の主張京都府大会京都市PTA会長賞)▽村下賀奈子「園部中三年生」(第二十八回「ふるさとを描こう」写生コンクール特選)▽野口麻美「美山中三年生」(第二十八回少年の主張京都府大会京都府教育長賞)▽向井歩美「殿田中二年生」(第六十六回全国教育美術展絵画の部特選)▽森田麻友「同志社女子中二年生」(第二十六回京都新聞書き初め展南丹市長賞)

《団体》

【小学生の部】

▽園部小学校六年生女子リレーチーム(二〇〇七日本ジュニア室内陸上競技大阪大会女子小学四×八〇リレー三位/第二十二回京都府小学生陸上競技選手権大会四百リレー)



▲小学生を対象に表彰した「翔け賞」

レー二位「中田優衣、岩崎楓、今井爽歩、滝村詩織」▽園部小学校五・六年生駅伝チーム（平成十八年度第二回南丹小学校駅伝「キッズふれあい駅伝」優勝）

《個人》

▽滝村詩織「園部小六年生」
 （第二十二回京都府小学生陸上競技選手権大会百歳二位）▽熊本展也「摩気小六年生」（第十七回府少年少女柔道チャンピオン大会四年生口丹ブロック予選優勝）▽八木孝紘「八木小六年生」（第二十二回京都府小学生陸上競技選手権大会百歳優勝）▽鉦康一「新庄小五年生」（第二十六回京都府小学生バドミントン選手権大会五年生以上複合の部準優勝）▽大狩光貴「八木小五年生」（第十五回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会五年生以下男子複合の部準優勝）▽小多田隼也「吉富小六年生」（第二十二回全国小学生陸上交流大会京都府予選会八〇歳ハ

ードル優勝）▽藤村葵「胡麻郷小六年生」（二〇〇七日本ジュニア室内陸上競技大阪大会女子小学生六〇歳八位／第二十二回京都府小学生陸上競技選手権大会百歳優勝）

■ 翔け賞 文化の部

《団体》

▽鶴ヶ岡小学校（京都府教育委員会主催みんなで読もう！一〇〇〇万冊読書キャンペーン京都府教育長賞）

《個人》

▽田中希佳「園部小六年生」（第二十六回京都新聞書き初め展京都知事賞）▽森田里穂「園部第二小五年生」（第二十六回京都新聞書き初め展特別賞）▽水口千星「園部小四年生」（青少年読書感想文コンクール京都知事賞）▽山田菜美子「園部小四年生」（青少年読書感想文コンクール京都市教育長賞）▽岡高志「園部小三年生」（青少年読書感想文コンクール京都府学校図書館協議会長賞）▽西田佳永「園部小三年生」（青少年読書感想文コンクール京都府図書館協議会長賞）▽福島駿介「園部第二

小五年生」（第二十六回京都新聞書き初め展金賞）▽出野紗代「園部小五年生」（第二十六回京都新聞書き初め展金賞）▽高屋真奈美「川辺小一年生」（第二十六回京都新聞書き初め展金賞）▽小寺彩乃「摩気小四年生」（第五十二回青少年読書感想文全国コンクール全国学校図書館協議会長賞）▽美馬有津沙「八木小三年生」（第二十六回京都新聞書き初め展京都府教育長賞）▽美馬光「八木小一年生」（第二十六回京都新聞書き初め展南丹市教育長賞）▽中川知世「富本小四年生」（平成十八年度緑化運動ポスター京都府教育長賞「奨励賞」）▽宇野颯人「殿田小二年生」（第三十六回京都新聞お話を絵にするコンクール文部科学大臣奨励賞）▽谷口果穂「胡麻郷小五年生」（第二十六回京都新聞書き初め展金賞）▽松本皓平「鶴ヶ岡小五年生」（平成十八年度京都府統計グラフコンクール京都市教育長賞）▽田口僚馬「鶴ヶ岡小三年生」（第五十四回統計グラフ全国コンクール入選／平成十八年度京都府統計グラフコンクール京都府知事賞）▽

小林のぞみ「鶴ヶ岡小二年生」（平成十八年度京都府統計グラフコンクール京都府知事賞／第二十六回京都新聞書き初め展特別賞）▽河村衣香「鶴ヶ岡小二年生」（平成十八年度京都府統計グラフコンクール京都府知事賞）▽山内拓哉「平屋小五年生」（第七回瓦のある風景絵画展京都府教育長賞）



▲およそ100人の受賞者が出席



ホームステイや視察を通して異文化体験

— 市民国際交流派遣事業 —

南丹市の国際交流事業の一つとして、二月十八日から二十四日にかけて市民八人がニュージーランドを訪問し、市内視察やホームステイを体験しました。



▲派遣事業参加者（ダニーデン市にて）

ニュージーランド（クルーズ連合市）との交流は、平成十四年十一月に旧日吉町とクルーズ連合市との間で「友好宣言」の調印が行われ始まった。今回、南丹市となつて初めての訪問となりました。

一行はニュージーランド入国後、最初に南島海岸部のダ



▲小学生に書道を教えて交流を深めました

ニーデン市内の視察を行い、美しい街並みや歴史を見聞しました。その翌日からクルーズ連合市で三日間のホームステイや農業施設、福祉施設などの市内視察を行い、異文化を体験するなど有意義な交流ができました。

八人の参加者は、「人の温かさに触れ、貴重な体験ができました。今後、南丹市でこの体験を生かしていきたい」と思いを語っていました。



▲羊の毛刈りを体験

今回の派遣事業に参加させていただき、地元の小学生との交流やホームステイ、農業専門学校での羊の毛刈りなど、七日間でさまざまな体験をさせていただきました。

ニュージーランドは街中にゴミ一つ無く、人と自然が一体となつて共存しているようなまちづくりがされており、とてもきれいな街だと思いました。南丹市でも豊かな自然を生かしたまちづくりができればと思いました。

今回の国際交流事業を皮切りに、国際交流に対する関心が市民の皆さんの中に広がるとともに、国際交流事業が全市域的な取り組みとして多くの方に参加していただけることを願っています。



ニュージーランド
派遣事業 団長
佐藤 文則さん

「ニュージーランドで
感じたこと」

消防団活動に全力で取り組む

—南丹市消防団入退団式—

四月一日、南丹市国際交流会館で南丹市消防団入退団式および辞令交付式を行い、およそ四百人の団員らが参加しました。

式典では、初めに奥村陸夫団長の退任に伴い、益田武彦氏に市長から南丹市消防団長の辞令交付が行われました。続いて、佐々木稔納市長が「市民の安心、安全のため、崇高な精神での消防団活動を心



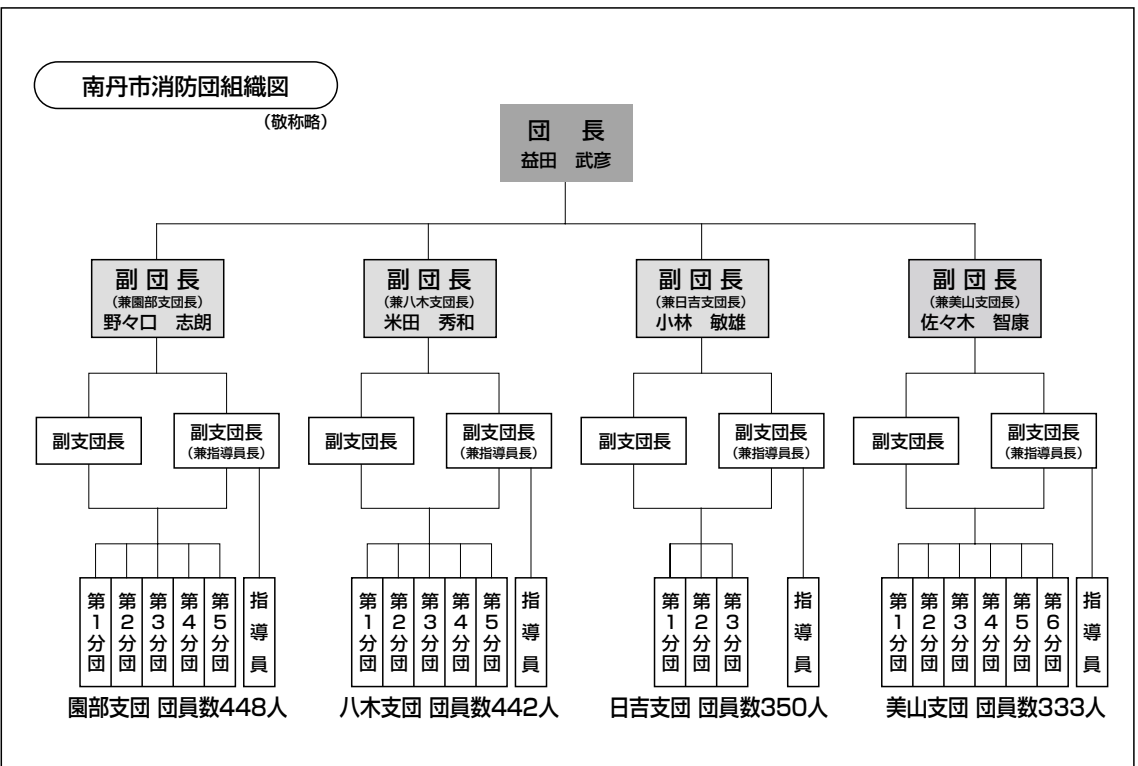
▲辞令を受ける益田武彦団長（右）

からお願ひします」とあいさつを行いました。その後、副団長兼支団長、副支団長、分団長、副分団長、指導員、部長、ラップ隊長、班長の代表者への辞令交付に続き、新入団員八十三人を代表して園部支団の小島輝亮団員が、益田団長より辞令を受け、「良心に従って忠実に消防の義務を遂行することを厳粛に誓います」と力強く宣誓。最後に益田団長が「南丹市消防団の発展に向け、全力で消防団活動に取り組む」と訓示を行いました。式典終了後、園部支団では新入団員が全員参加しての訓



▲宣誓を行う小島輝亮団員

練を行いました。また、八木、日吉支団では、各支所で支団幹部らへの辞令交付式、美山支団では市立美山中学校体育館で全支団員が参加しての入退団式および辞令交付式を行いました。





南丹っ子九百五十九人が晴れの巣立ち

―市内小・中学校、幼稚園、保育所で卒業・卒園式―

南丹市内の小・中学校、幼稚園、保育所で合わせて九百五十九人が卒業・卒園を迎え、それぞれの思い出と新たな希望を胸に巣立っていきました。

四つの中学校では、三月十三日にそれぞれの中学校で卒業式を行い、三百五十九人が卒業しました。

また、十八の小学校では、三月二十二日にそれぞれの小学校で卒業式を行い、三百五十三人が卒業しました。

このうち、五ヶ荘小学校は四月から殿田小学校と統合さ



▲最後の卒業式となった五ヶ荘小学校

れ、今年が最後の卒業式となりました。式では、最後の卒業生となった五人に、今西徹校長が「五ヶ荘小学校の卒業生として誇りを持ち、これからも勉強にスポーツに頑張ってください」とお祝いの言葉を贈られました。

幼稚園・保育所でもそれぞれ卒業式を行い、合わせて二



▲183人が卒業した園部中学校

百四十七人の園児が卒園しました。



▲5人の園児が卒園した鶴ヶ岡保育所



▲家族に感謝の想いを伝える園児（八木中央幼児学園）

花と緑あふれる まちづくり

―園部町「花」友の会

地区代表者会議―

三月八日、園部町「花」友の会（中嶋美好会長）の地区代表者会議が市役所で行われました。

「花」友の会は、花苗の育成、飾花、花壇コンクールの開催、地域イベント会場の飾花などに取り組まれ、花と緑でいっぱい美しいまちづくりを目指し活動されています。

会議では、園部地域だけではなく、他の地域でも活動されている団体などと連携して、花と緑あふれるまちづくりを進めていく活動の方針が話し合われました。



▲今後の活動の方針が検討されました

地域を火災から守る —春の火災予防運動—



▲美山支団で行われた火災想定訓練

三月一日から七日までの一週間、全国一斉に「春の火災予防運動」が行われ、南丹市消防団（奥村睦夫団長）では二月二十五日に八木支団で、三月一日に園部支団、三月四日には日吉・美山支団で防火パレードを行ったほか、園部・美山支団では非常招集訓練などを行いました。

このうち美山支団では、地域の高齢者世帯を団員が訪問し、消火器の点検や火の元の点検を行う啓発活動を行いました。また、各分団ごとに火災を想定した訓練を行い、参加した団員たちは熱心に取り組んでいました。



▲虐待防止の取り組みが話し合われました

地域と連携し虐待を防止

—南丹市高齢者虐待防止ネットワーク—

三月二十六日、南丹市高齢者虐待防止ネットワーク会議が行われました。会議には、民生児童委員会や老人クラブなどから十五人の委員が出席し、会長に吉田義一さん、副会長に視測八重子さんが選任されました。会議では、南丹保健所から南丹市内における虐待は近隣の市町と比べて少ないことが報告されました。

しかし、高齢化社会を迎え、南丹市でも虐待が増加する可能性があります。啓発活動や地域との連携強化に取り組むことが、会議で話し合われました。



▲早川一光さんが「怒らないことが大事」と講演

講演で早川さんは「寝たきりになると認知症になりやすい。介護する方もあまり怒らないことが大事」と話されました。また、江村さんは寝たきりの奥さんの介護をされ、「家族を介護するときに、一生懸命になると介護する方が参ってしまう。大事なのは『ほほどほど』ということ」と自身の体験を語られました。

家族の介護は

“怒らず” “ほほどほど” に

—南丹市家族介護者教室—

在宅で介護をされている方や、介護に関心のある方、介護に対する知識を広めたい方などを対象に、「南丹市家族介護者教室」が三月に市内の各地で行われました。



▲自身の介護体験を語る江村利雄さん

南丹市職員人事異動

平成十九年四月一日付の南丹市職員の人事異動をお知らせします。(一)内は前職

【部長級】

▽福祉部長兼福祉事務所長 永塚則昭(福祉部長)▽会計管理者 永口茂治(福祉事務所長)

【次長級】

▽教育委員会教育次長兼社会教育課長 東野裕和(教育次長)

【課長級】

▽胡麻・日吉中央・興風保育所長 東厚子(胡麻保育所所長補佐)
▽興風保育所所長補佐 堀江純子(城南保育所係長)

【主任級】

▽総務部合併調整室主幹 堀江長(園部支所地域総務課主幹)
▽美山支所建設課主幹兼建設係長 中西伊三雄(同課主幹)

【課長補佐級】

▽興風保育所所長補佐 堀江純子(城南保育所係長)

【係長級】

▽総務部企画情報課企画調整係長 西田文英(企画情報課「京都府企業局建設整備室派遣」)
▽園部保育所係長 石田博子(鶴ヶ岡保育所係長)▽城南保育所係長 前田和代(八木東保育所係長)▽八木中央保育所係長

松山純子(同所主任)▽八木東保育所係長 今西恵子(同所主任)▽胡麻保育所係長 岡島真理子(園部保育所係長)▽教育委員会すこやか学園係長 前原一子(園部幼稚園係長)

▽福祉部健康課主任 人見敦子(同課主査)▽事業部都市計画課主任 小寺雅智(同課主査)▽日吉支所産業振興課主任 安木裕一郎(同課主査)▽美山支所地域総務課主任 井上操(同課主査)▽美山支所健康福祉課主任 磯部雅子(同課主査)▽教育委員会社会教育課主任 辻健二郎(同課主査)▽教育委員会教育振興係園部主任 湯浅康弘(同係主査)▽教育委員会教育振興係八木主任 谷口悌(同係主査)▽教育委員会教育振興係日吉主任 船越香(同係主査)▽八木中央幼稚園主任 高西美千代(同園主査)▽園部保育所主任 秦久美(同所主査)▽園部保育所主任 井尻真奈美(同所主査)▽城南保育所主任 吉田さゆり(同所主査)▽城南保育所主任 佐井かよ子(同所主査)▽八木中央保育所主任 今井かおり(城南保育所主査)▽八木

東保育所主任 山口雅世(園部保育所主任)▽興風保育所主任 弓削志津加(みやま保育所主任)

▽総務部総務財政課主査 畠中寿(同課主事)▽総務部総務財政課主査 寺井正和(同課主事)▽福祉事務所主査 岡部和子(同所主事)▽事業部農林商工課主査 中井雅宏(同課主事)▽水道事業所下水道課主査 中澤美鈴(同課主事)▽園部支所地域総務課主査 塩見規子(同課主事)▽園部支所地域総務課主査 上野正博(同課主事)▽園部支所健康福祉課主査 井尻哲也(同課主事)▽八木支所地域総務課主査 津原真由美(同課主事)▽八木支所地域総務課主査 国府幸明(同課主事)▽八木支所地域総務課主査 田村祐子(同課主事)▽美山支所健康福祉課主査 田中智美(同課主事)▽教育委員会教育振興係園部主査 山田真美(同係主事)▽教育委員会教育振興係園部主査 井尻智道(同係主事)▽教育委員会教育振興係八木主査 浅田妙子(同係主事)▽教育委員会社会教育課主査 山下剛(同課主事)▽教育委員会園部幼稚園主査 西岡典子(同園教諭)▽教育委員会園部幼稚園主査 谷明美(同園教諭)▽園部保育所主査 河原育代(同所保育士)

▽八木東保育所主査 福岡尚子(同所保育士)▽日吉中央保育所主査 曾利恵理子(平屋保育所主査)▽みやま保育所主査 高橋知代(興風保育所主査)

▽総務部総務財政課主事 三原大雅(同課主事補)▽京都府総務部自治振興課京都府実務研修柳井信時(八木支所建設課主事)▽福祉事務所主事 馬淵美賀(園部保育所保育士)▽八木支所健康福祉課主事 高橋花奈(園部支所健康福祉課主事)▽美山支所健康福祉課主事 桂隆浩(八木支所健康福祉課主事)▽園部保育所保育士 武田知美(大野保育所保育士)▽園部保育所

保育士 宇野みずす(新規採用)▽園部保育所保育士 川坂美紗子(新規採用)▽城南保育所保育士 松尾公美(胡麻保育所保育士)▽城南保育所保育士 井上麻紀(新規採用)▽胡麻保育所保育士 和田純江(城南保育所保育士)▽平屋保育所保育士 近澤真紀代(城南保育所保育士)▽大野保育所保育士 鈴木亜寿架(美山支所健康福祉課主事)

【三月末退職者】
▽波部敏和(教育委員会社会教育課長)▽山内正和(美山支所建設課建設係長)▽畑啓子(八木中央保育所係長)▽湯浅幸雄(総務部総務財政課主任)▽田上多栄(園部保育所保育士)

教育委員会委員を選任

勝田正己委員長の退任に伴い、三月三十一日付けで齊藤進さんが教育委員長に選任されました。
また、新たに湯浅照夫さんが委員に就任されました。



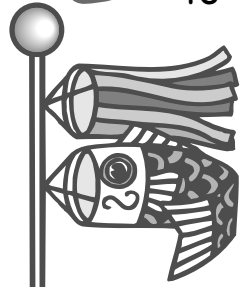
教育委員長 齊藤 進さん

教育委員会委員

委員長	齊藤 進さん(八木町・刑部)
職務代理者	木村 光一さん(美山町・豊郷)
委員	奥村 功さん(園部町・天引)
委員	湯浅 照夫さん(日吉町・生畑)
教育長	牧野 修さん(園部町・小桜町)

いきいき南丹

—13—



お元気ですか?
保健師です。

春は市民健診の季節です

体と合わせて心の健康も考えてみませんか?

南丹市では四月から五月にかけて市民健診を行っています。健診のあるこの時期に、あらためて自分の生活を振り返り、健康について考える人も多いと思います。今回は体の健康に加えて、心の健康についても考えてみましょう。

★季節の変わり目は心の健康にご注意を

春は物事が新しくなる、始まりの季節です。進学や就職などで環境が変わったり、寒かった冬が終わり暖かくなったので、何かを新しく始めようという人も多いでしょう。

ここで気をつけたいのは、季節の変わり目には精神的なトラブルに陥る人が多くなるということです。季節の変化は私たちの身体面にはもちろん、精神面

にも影響を与え、さまざまな体のトラブルの原因になることがあります。

例えば、うつ病などは、寒くなり始める十一月から十二月、暖かくなり始める四月から五月にかけて発症しやすい傾向があります。

特に春は、新生活が始まるなど、生活のリズムが変わります。

体調など身体に気を付けることが大切ですが、心の健康に気を配ることも大切です。

季節の変わり目は、体も心も疲れやすくなってきているものだというのを自覚して、無理をしないように注意しましょう。

★心の健康を保つには

心の健康を保つためのポイントには、「休養」「気晴らし」「くつろぎ」です。「休養」で特に重要なのは、睡眠時間の確保です。毎日、七〜八時間の睡眠をとって体を休めるようにしましょう。「気晴らし」は、運動や入浴、趣味の時間を持つなど、自分なりに気分転換できることを見つけ、それを普段の生活の中にうまく取り入れることで、ストレスを溜めないようにしましょう。「くつろぎ」は、自分の気持ちを緩めて、リラクゼーションの気持ちを持て、リラックス

心の不調が招く症状

【体の症状】

不眠・睡眠過多・過食・食欲不振・胃痛・下痢・便秘・頭痛・頭重感など

【心の症状】

落ち込む・イライラ・不安感・緊張感・無力感・悲観的・集中できない・自分や他人を責める・誰にも会いたくないなど



【健康な生活習慣を送るための7カ条】

- ・たばこは吸わない。
- ・お酒はほどほどに。
- ・適度な運動をする。
- ・適切な体重を維持する。
- ・七〜八時間の睡眠を維持する。
- ・毎朝、朝食をとる。
- ・不必要な間食をしない。

できる時間をつくるようにしましょう。

★日ごろから心と体の抵抗力を高める三つの心がけ

日ごろの生活のちよつとした心がけで、心や体の抵抗力を高めて、病気にかかりにくくすることができま

す。一つ目は、趣味や仕事、生きがいなど何でも良いので「これが楽しみで生きている」ものを生活の中に持つことです。自分の生活に自信を持つことや、満足することでストレスへの抵抗力が高まります。二つ目は、自分が困った時に何でも相談できる人を見つけ、安心して日々の生活を送ることです。三つ目は、規則正しい生活で、病気に負けない体を作ることです。まずは、自分にできる健康習慣を生活の中に取り入れてみてください。

みんなのひろば

まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「南丹市の歴史に触れる見学会」

(3/25・丹波史談会)

丹波地方の郷土史を研究するグループ「丹波史談会」(奥村賢会長)による、日吉町胡麻から京丹波町丹波高原までの歴史を訪ねる「胡麻・丹波高原見学会」が行われました。当日は、奥村会長が地域の地名や地層、生えている植物などから分かる地域の変遷などを説明されました。また、胡麻川の上流にある昔の大堰川を利用した通船の港跡や、旧若狭古道、太古の地殻変動でできた河川流路を今に残す“水分の路”などを見学し、参加者は地域の歴史を感じる1日になりました。



▲日吉町胡麻地域の歴史をたどりました(日吉神社にて)

「人と自然との共存が、未来につながる」

(2/25・いきもの川探訪)

都市近郊に位置しながら多くの自然が残っている南丹地域の身近な水辺の生き物を見つめ直そうと、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会亀岡支部・園部支部が、八木公民館で「いきもの川探訪」と題して講演会や交流会が行われました。

交流会ではまず、京都学園大学バイオ環境学部の大西信弘助教授が基調講演を行われ、人と自然との共存の必要性を強調されました。続いて、岡山淡水魚研究会や岡山市賞田町内会のメンバーが、アユモドキをはじめとする淡水魚保護活動の取り組みの事例発表をされました。また、地元からは八木町西田自治会からの報告があり、平成16年から始めた「魚の観察会」で23種類の淡水魚や10種類の貝類が確認されたものの水質の悪化が懸念されることや「農業を続けていくという希望と結びつけて活動を続けていきたい」と抱負を述べられていました。最後に意見交流会が行われ、一人ひとりが今日の話を背負いながら次の一步を考えていくことを確認し合いました。

「家庭でできる健康法で毎日が元気！」

(3/17・市民公開講座)



▲「肥満を知ること健康な毎日が送れます」

南丹市日吉町にある明治鍼灸大学附属鍼灸センターによる市民公開講座が南丹市国際交流会館で行われ、およそ60人の市民が訪れました。当センターでは地域の健康を守るため、これまで日吉町で講座を開いて、日ごろから健康に気をつけてもらおうと取り組まれており、今回は南丹市となって初めて園部町地域で開催されたものです。

この日は肥満の基礎知識と生活習慣病の予防が紹介されました。また、体調管理に役立つ家庭でできる“ツボ”療法が紹介され、訪れた参加者は早速、実践していました。



▲事例発表に耳を傾ける参加者



▲修了証書と鉢植えの花が贈られました

日吉町地域の高齢者および女性を対象とした生涯学習推進事業、日吉福祉大学・紅が丘大学の閉講式を、南丹市日吉町生涯学習センターで行いました。

平成18年度の受講生は、323人（福祉大学262人、紅が丘大学61人）。教養文化・人権・体育などの講座のうち、必要単位数を受講した学生には修了証書と鉢植えの花が粟路静夫学長から贈られました。

（3/23・日吉福祉大学・紅が丘大学閉講式）

「共に生き、共に学んで教養を高めよう」

南丹市教育委員会が主催する生涯学習フェスタが、南丹市美山町文化ホールで開催され、およそ300人が参加しました。フェスタでは、滋賀県の寺院三寶院さんぼうえんの栢木寛照住職による「世の中当たり前はない！」と題した講演が行われ、「教えられることだけでなく、自分が感じる事が大事」と話されました。この後、美山町文化協会の発表会が行われ、地域の各サークルが多彩なステージ発表を披露。また、手芸や書道などの作品が会場に飾られ、訪れた人々も足を止めて見入っていました。



▲栢木住職による講演

「多彩なステージと作品を披露」

（3/4・南丹市美山町生涯学習フェスタ）

「たくさんの思い出ができました」



▲8人の児童が退所しました

3月23日、平成18年度の美山山村留学センター「四季の里」の退所式が行われ、8人の児童が、1年間生活をした山村留学センターから巣立ちました。山村留学とは、小・中学生が一定期間親元を離れ、山村の留学センターや里親家庭で生活しながら現地の学校で学ぶもので、旧美山町では平成10年から知井小学校で山村留学制度をスタートし、今までに69人の児童が留学しました。

（3/23・美山山村留学センター退所式）

「子どもたちで企画したお別れ会」

南丹市八木町の氷所子供会では、地域の中学校3年生の卒業を祝うお別れ会を氷所会議所で行われました。

氷所子供会では、子どもたち自身が活動を企画し運営されており、今回も3月で卒業する3人の先輩へのお別れ会として企画されました。

こうした活動が評価され、氷所子供会は南丹船井地区民生児童委員協議会の「こども福祉活動表彰」をこのほど受けられ、当日、民生児童委員の中川純子さんから子供会会長の藤原将太君へ表彰状が手渡されました。



▲ユニークな活動方法が評価され、「こども福祉活動表彰」を受賞

（3/18・氷所子供会「お別れ会」）

なんたん歳時記

-15-



「大野ダムさくら祭り」

—美山町大野地域—

南丹市美山町檜原地区にある大野ダムには、およそ千本の桜が植えられており、春には「さくら祭り」が行われ、多くの観光客でにぎわいます。

昭和六十一年に、旧美山町や商工会などによって始められ、第四回からは地元の大野地区の住民組織が主体となり今年で二十二回目を開催。大野ダムの桜を、多くの人に楽しんでもらおうと、毎年、趣向を凝らされています。

地域の人たちは、地元の新鮮な野菜を並べた朝市や、手作りの桜餅、納豆などの加工品をそろえて、訪れた人たちを迎えます。また、地元大野小学校の児童による「ふるさと太鼓」や、夜には夜桜のライトアップと花火の打ち上げなどで、イベントは一層盛り上がります。

桜とふるさとを愛する地域の人々の心が、訪れる観光客を温かく包み込む、春の恒例行事です。



わが家のアイドル

●日吉町
いでの出野 理恋ちゃん (3歳)

「お兄ちゃんのように大きく、優しい子に育ってね」 (祖母より)

編集後記

国民の祝日に関する法律の一部が改正され、今年から四月二十九日が「昭和の日」、五月四日が「みどりの日」の祝日になりました。これによって五月の三連休が日曜日と重なった場合、六日が振替休日になり、来年がその年になります。連休中、南丹市内でも楽しいイベントが盛りだくさんあります。ご家族そろって、新しい「ふるさと」を楽しみましょう。(S)

DATA

- 総人口：35,751人 (-215)
(男：17,133人・女：18,618人)
(-132) (-83)
- 世帯数：13,343世帯 (-122)

(平成19年4月1日現在)
()内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画情報課秘書広報係まで



編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。